

たからぎ通信

冬号

発行日：2016年12月15日



地域連携推進室に

ついて



村井クリニック
院長 村井 邦彦

地域連携推進室は、地域医療・地域貢献事業に取り組むための組織であり、外来診療、訪問診療、リハビリテーション、講演・地域貢献活動などクリニック内外のすべての活動を管轄しています。当然ながら、地域の病院連携室やクリニック、地域包括支援センター、ケアマネジャーさん、訪問看護師さんなどとの、病診連携・診診連携、医療・介護連携を推進するという重要な役割を担っています。

室長は小須田課長（看護師）となっており、以下、染谷課長（理学療法士）、藤田係長（医療事務）、高村主任（看護師）、鈴木（ソーシャルワーカー）、駒場（言語聴覚士）、谷（事務）、若林（メデイカルアシスタント）、直井（事務）の九名です。院長はじめ三名の医師と、組織統括マネージャーである長谷川事務部長も、活動に参加しています。

主な活動内容は、訪問診療や訪問リハビ

今回で当院は五回目のリレーフォーライフとなりました。初参加のスタッフも多く、催し物に参加したスタッフからは楽しめたり勉強になったりと有意義だったとの声も聞かれました。例えば、ステージではガンのリハビリテーションについて



リレーフォーライフ
2016 とちぎ

村井クリニック

秋の健康祭り開催!

日時…十一月十二日（土）十四時
場所…村井クリニック敷地内



さわやかな秋晴れの中、当院初となる「秋の健康まつり」を開催することができました。地域の皆様へ日頃の感謝の気持ちと、皆様の末永い健康を願い、企画した次第です。普段聴けないお話や、お目にかかれない検査

リレーフォーライフの連携・調整のほか、地域の問題事例の相談、地域ケア会議への参加、健康教室・体操教室、他院の入院や手術・検査のご相談等です。地域包括ケア研究会では、地域の自治会などで地域包括ケアシステムの構築を共に考える活動を行っています。認知症高齢者や独居高齢者のお宅への訪問も必要に応じて実施しています。医療・介護の困りごとがあったら、まず、クリニック2階の「地域連携推進室」のドアを叩いてください。

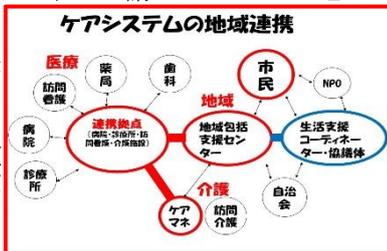
の講義があり、ガンになってもその人らしく生きていくためにはどういった考え方やアプローチがあるかなど学ぶことができました。これからのこういった活動を通して「地域の方々に寄り添った医療を提供するためにはどうすればよいか」を考え、学んでいき、地域の活性化に貢献できるように努力していきたいと思います。小笠原泰喬

機器などの体験に、百七十名を超える方々の来院を数えました。院長講演や最後の抽選会では会場に座れないほどの人が集まり、大盛況裏に終われたこと、ご報告いたします。実行委員長 染谷卓志



地域包括ケア研究会

当院では、まちづくりと地域貢献活動の一環として「地域包括ケア研究会」と称し、出張講座を始めました。第一回目は十月一日



「滝の原自治会様にお呼び頂きました。国の財政や人口動態をはじめ、市民に求められていることや、地域における課題、いわゆる「地域包括ケアシステム」とはいったいどういうものなのか、といったお話をさせていただいております。

地域の中で自分らしく生き抜くためには、さまざまな準備が必要です。その一つが、支え合いのまち作りです。ぜひ市民の皆さまと手を取り合って、地域ごとに抱えている課題に取り組む、住みやすいまちを作っていくでしょう。

鈴木隆浩



特集 たからぎ

もの忘れと認知症の違いとは

「久しぶりに会った人の名前が出てこない」「うっかり約束の時間を忘れてしまう。」

ある程度年齢を重ねた人なら経験がおありでしょう。記憶力は二十代をピークとして加齢とともに低下します。老化現象としてのもの忘れなら問題ないですが、認知症によるもの忘れは次第に日常生活に支障をきたすようになります。

例えば

「印鑑をどこにしまったか忘れて探している」

といったケース

単なるもの忘れなら

「印鑑をしまったこと」 自体は覚えており「自分は忘れている事」 自体がわかっています。

しかし**認知症によるもの忘れの場合**

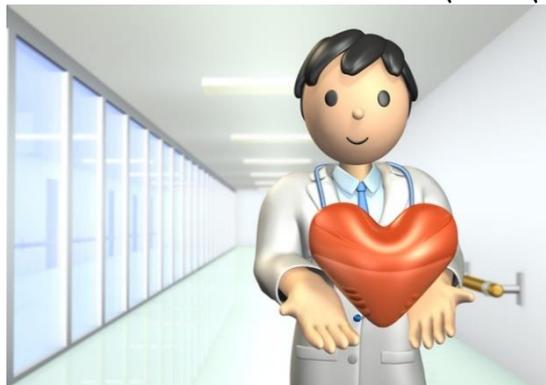
「印鑑をしまったそのこと自体」を忘れてしまい

「印鑑がないじゃないか。きっと誰かに盗まれたんだ！」と怒ることさえあります。



しかし認知症の早期であるほど、老化現象によるもの忘れと認知症によるもの忘れを見分けることは、いつも一緒にいる家族でさえもそう簡単なことではありません。一緒にいて「おかしいな」と思うことがあったら日時や詳細をメモしておきましょう。そして臆することなく専門の医療機関（もの忘れ外来（当院にもございます） 神経内科や精神科、脳神経外科）を受診しましょう。

当院認知症専門医 川島有実子



職員紹介

認知症チェックをしてみましょう。

もの忘れがひどい

- 電話を今切ったばかりなのに、相手の名前を忘れる。
- 同じことを何度も言う・問う・する
- 判断力・理解力が衰える
- 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった。
- 話のつじつまが合わない
- 時間・場所がわからない
- 約束した日時や場所を間違えるようになった
- 慣れた道でも迷うことがある
- 人柄が変わる
- 些細なことで怒りっぽくなった。
- 周りへの気遣いがなくなったり頑固になった
- 不安感が強い
- ひとりになると怖がったり寂しがったりする。
- 外出時、持ち物を何度も確かめる。
- 意欲がなくなる
- ふさぎ込んで何をするのもおっくうがり嫌がる
- 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった

いかがでしたか？これらのチェック項目は認知症を裏付けるものではありませんが、いくつか当てはまるものがあつたら早期発見のための受診をしましょう。

この冬は昨年と比べると遙かに冷え込む日が多い印象ですね。初雪も非常に早く、市役所前の銀杏並木では紅葉と雪の共演も見られました。寒暖の差も大きく体調を崩しやすい時期ですし、今年はずでにインフルエンザが流行しています。皆さまご自愛ください。

編集後記



看護部長
地域連携推進室長
小須田るみ



リハビリ部課長
理学療法士
染谷卓志

私は、今まで看護師としての三九年を病院の中で入院患者様の側で過ごして参りました。院長の「住み慣れた地域で医療介護サービスが受けられ自宅安心して自分らしい生活を送れる医療を」という熱意に惹かれ、在宅医療のお役に立ちたいと思えました。質の高い地域での診療・看護を目指し努力していきたいと思っています。

早いもので村井クリニックに勤務して二二年目に入りました。入職当初、リハビリ専門職は理学療法士の私一名のみでしたが、現在では七名にまで増え、サービスも医療・介護両面から提供しております。地域住民の皆様が悩んでいる痛みや身体的な苦痛を出来る限り解消し、元気と笑顔を取り戻すお手伝いができるよう努めて参ります。

村井クリニック
MURAI CLINIC
整形外科／内科／リハビリテーション科
ペインクリニック／もの忘れ外来

〒320-0061
栃木県宇都宮市宝木町 1-2589
TEL:028-621-1541
FAX:028-621-1514
<http://www.murai-opc.org/>

記事内容に関する
お問い合わせ
028-643-0332
担当（鈴木）

もの忘れ外来は
月曜日の午前中のみ
予約制となっております。

予約可能時間	
9:00~10:30	再診
11:00~	初診